

## 「節電の夏 / となりの1 m (メートル)」

7月からは日本中で電気を大切に使うこと「節電」が始まりました。なぜ日本中の方が節電をしなくてはならないのでしょうか。それは、3月に起きた東日本大震災の影響により、電気を作るところが壊れてしまい、今年の夏は電気が足りなくなってしまうそうなのです。もし、電気が足りなくなると、電車が動かなくなったり、町中が真っ暗になったりします。そして日本中に大きな影響が出てしまいます。ですから、六小でもできる限り、節電を行います。天井を見て下さい。節電のため、体育館の電球が外してありますね。みなさんもおうちで、出来る限り節電をして下さい。今年は「節電の夏」です。どんな節電をしたか今度聞かせてもらいたいと思います。



それでは、1学期最後の朝会のお話として「となりの1 m」というお話をします。校舎内でみなさんの教室の前を通っていると、よくこんな様子を目にすることがあります。落ちているゴミを拾う人、知らん顔して通り過ぎる人。

「ゴミが落ちてるよ。」と校長先生が言うと、拾ってゴミ箱に捨ててくれる人。

「ぼくが落としたんじゃないもん。」と言って拾ってくれない人。

「ぼくが落としたんじゃないけど・・・。」と言いながら拾って捨ててくれる人。



みなさんはどうですか。

言われなくても拾う人ですか、言われて拾う人ですか。

それとも、言われても拾わない人ですか。

校長先生は、先日こんな人を電車の中で見かけました。駅に着いた時、男の人が乗ってきました。座席に座ったと思ったら自分の前にあったゴミを、足でとなりの席の方に1メートルくらいどけてしまったのです。そして男の人の目の前にゴミはなくなりました。

見ていて、校長先生はなんかとても悲しい気持ちになりました。

さて、来週は1学期最後の大掃除がありますね。

「となりの1メートル」について考えてみましょう。

①教室の前にゴミがあるけど、うちのクラスのゴミじゃないって、となりの1メートルにゴミをよけてしまう。

②逆に、うちのクラスのゴミじゃないけれども、となりのクラスの前の1メートルまで、きれいに掃除してしまう。

さあ、みなさんの「となりの1メートル」は、どちらでしょう。

お掃除は、学校内をみんなできれいにします。でも、校舎をきれいにするだけではありません。お掃除は、自分たちの心もきれいにするものなのです。お掃除は「心磨き」ともいわれています。心ととなりの1メートルまで磨けるかな。

今度の大そうじ、みんなのゴミをみんなできれいにして、1学期お世話になった学校をピカピカにきれいにして、そして、自分自身の心もピカピカにきれいにしましょう。